

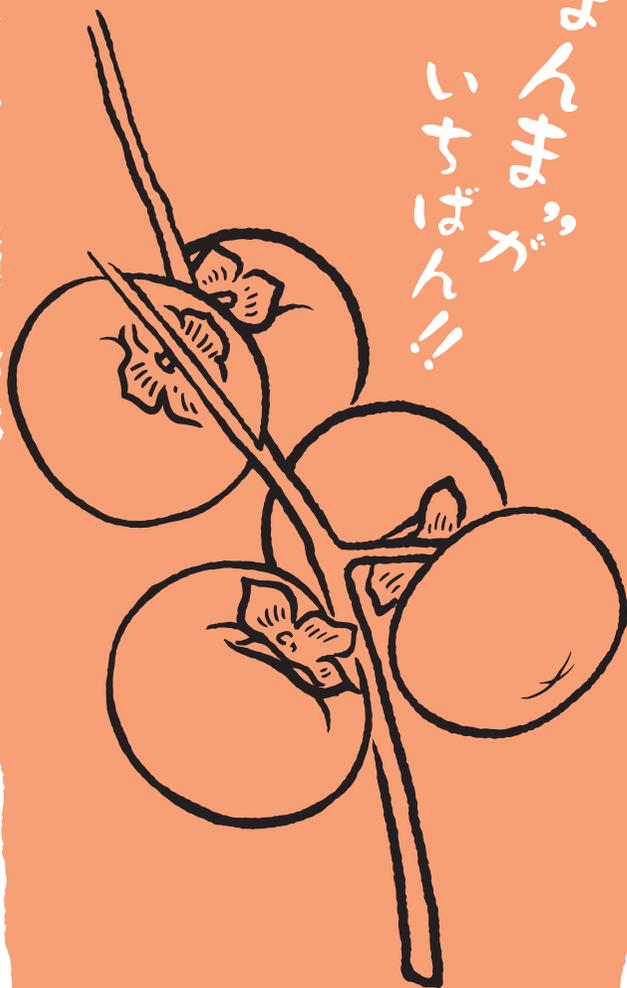
自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.5

Enjoy Country Life
YASUDA CHO

「第5号」2003 OCTOBER 10



安田町
ふるさと便
Vol.5



自然Gかぐか子か
ふるさと便。

●ふるさとの味をお届けします●

ふるさと便では、安田町の郷土産品を全国発送いたしております。

安田のふるさとセット

ふるさとセットA **クール便**

4,600円 ※送料・消費税込

■内容／とろろん一番(冷凍パック)3袋、椎茸200g、ゆず3個、むかご200g

ふるさとセットB **クール便**

3,500円 ※送料・消費税込

■内容／とろろん一番(冷凍パック)3袋、ゆず2個、むかご100g

最高級特選山芋

自然薯2.0kg(3~5本)

6,000円 ※送料別・消費税込

自然薯1.0kg(2本)

3,000円 ※送料別・消費税込



とろろん一番 **クール便**

700円 ※消費税込

■内容／山芋のすりおろし(冷凍パック)1袋

※詳しいお問い合わせ、ご注文は下記までお電話またはFAXでどうぞ。

JA土佐あき中山出張所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘694-2
TEL.0887-39-2031 FAX.0887-39-2411



編・集・後・記

今回たくさんの方々取材協力していただき、ありがとうございます。誌面の関係上、掲載できなかった方や子供たちに心よりお詫び申し上げます。

お問い合わせは

安田町役場企画財政課

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850

TEL.0887-38-6713 FAX.0887-38-6780

HP <http://www.town-yasuda.mykochi.jp/home.htm>

E-mail ysd-kikaku@town-yasuda.mykochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘716-2
TEL.0887-39-2008 FAX.0887-32-4008



旧／安田中学校の運動会

安田町

うちんくの町も収穫の秋を迎えました。
秋のやわらかい光の中、安田の田んぼに実ったおいしいお米。
懐かしい味を思い出ししてもらいたいとき、
ちよつとだけおすす分けします。



Contents

3

家庭訪問ならぬ

学校訪問

旧小川小学校（廃校）
中山小学校・中山中学校
安田小学校・安田中学校



9

やっぱり安田川が一番
上総文二さん（77歳）●安田町船倉

安田漁港

今昔写真館

なつかしマップ

13 12 11



川を堰き止めた簡易プール



小川へき地集会所



校庭にあるイチヨウの木。今まで実をつけたことがなかったが、ここ2、3年に銀杏が実るようになった。



久しぶりに僕らもが
通ったあの学校に
行ってみたいぜよ。

旧小川小学校 ●安田町小川

昭和56年春、5名の在校生が他校に移り、小川小学校はその役目を終えました。学校を訪れると、虫の声だけが響く静寂に包まれています。

「一番多いときで、全校生徒が100人ぐらいだったろうかね。小さな学校ですから、上級生と下級生が、先生と混ざり合っているような、本当に仲の良い学校でした」と話すのは坂本和子さん。この小川小学校の卒業生であり、

さらに廃校2年前までの20年間にわたって同校の用務員を勤めて学校を見守ってきました。

「今と違って、テレビもゲームもない時代。学校に行つて授業を受けて、放課後は山へ行って木に登ったり、し

ゃしゃぶや野いちご、アケビを見つけて食べたり…。そんな毎日でしたねえ」と子ども時代を振り返ります。

中学を卒業後、小川小学校の用務員に。「10代の頃なんて子どもみたいなもの。当時は兄弟のように子どもたちと接していました。本当にかわいい子どもたちでしたから、卒業ともなるとうれしいような悲しいような」。

プール施設のない子どもたちのために、ある教師の発案で学校脇を流れる川を堰き止めて、夏の間は簡易プールに。そんなエピソードからも、先生と児童の交流の暖かさがうかがえます。

現在、学校に併設する、へき地集

会所は「小川獅子舞」の練習場や地区の集会場として、校舎はユズ搾汁に活用されています。



旧小川小学校用務員
坂本 和子さん



なつかしい昔の写真

中山小学校 ● 安田町大字正弘 お年寄りとペアを組んで

「いんにちは」。学校を訪れると、子どもたちの元気な挨拶。この礼儀正しさは中山小学校の伝統です。「挨拶のすばらしさには目を見張りました」と、今年4月に着任した野村美苗校長は話します。

3、4年生、5、6年生は複式学級。しかも中山中学校とも中庭を挟んだ同一校舎、年齢の異なる生徒たちが身近に接することができる環境の中で、下級生は上級生を見習い、上級生は下級生の手本となるよう頑張るなど、良い効果が現れています。学校では1、6年ほど前から、地域の高齢者と児童がペアを組んで様々な交流に取り組んでいます。年賀状などの手紙のやり取り、学校行事の時には招待状を出して学校に招きます。世代を超えた触れ合いが、地域の核となる学校を盛り上げています。

中山中学校 ● 安田町大字正弘 踊りを見にきてよ!

中山中学校の体育大会は、保育園、小学校との合同開催。地元の人たちも注目の的なのが、小・中学生、体の応援合戦でしょう。勝負がかかっているだけに、中学生は真剣そのもの。「体育大会前になると、小学1年生に「生懸命、手拍子を教えてくださいますよ。微笑ましい光景ですね。『カーブト虫、コイコイ』なんてリズムを覚える言葉もありますよ。生徒の間で代々受け継がれているのでしょ」と手島英次校長。

実は4年前、中山中学校には新しい伝統が生まれました。オリジナル創作舞踊「まっことえいぜよ、中山」です。嗚呼を手に舞う軽快なダンス。体育大会のほかに敬老会やお祭など、地元の要請に応じて様々な場所で披露しています。ぜひ、ご観賞を!



中山小学校 校長
野村 美苗さん



中山中学校 校長
手島 英次さん



中山小学校
児童数 / 31人
総学級数 / 4クラス



中山中学校
生徒数 / 13人
総学級数 / 2クラス





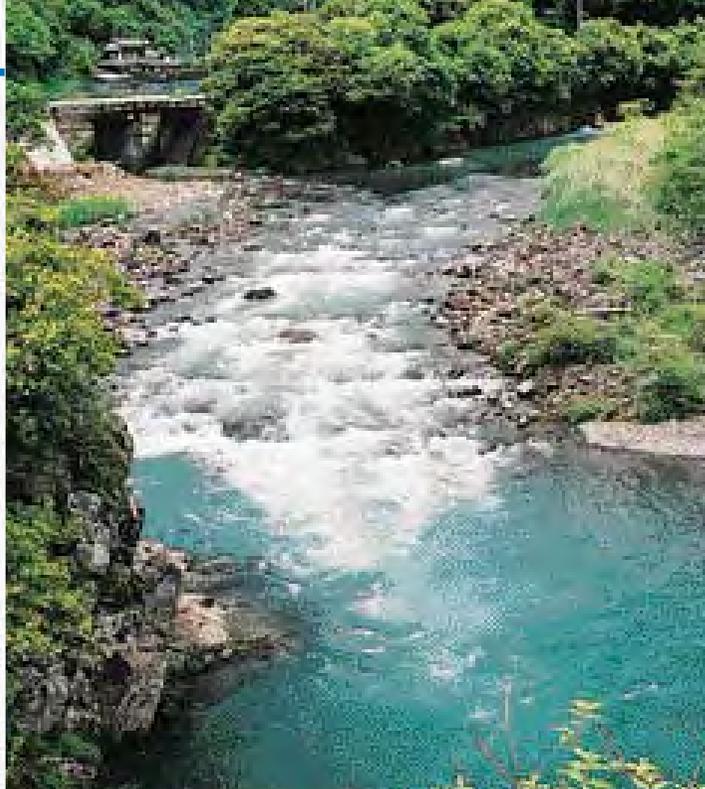
半身水に浸かって鮎に挑む



解禁日には多くの太公望が訪れる



おとり鮎を使う友釣り



上総文二さん(77歳) ●安田町船倉
安田を離れて
初めてわかった。
やっぱりこの川が
日本一よ。



「安田川アユおどる清流キャンプ場」の管理人も兼務していたが、片手間では無理と現在は自宅前の櫓(やぐら)で鮎釣り客の対応に専念する上総さん。年4回ほど、大阪の自宅とを往復する生活。(上総さんの櫓の場所は13頁のマップを参照)



安田川遊魚センター

安田川遊魚センターはセンターの役割としてだけでなく釣り人が休憩できる施設としても利用されている。また、釣り情報の提供や遊魚券の発行も行っている。

●お問い合わせは/TEL 0887-38-6121

小学校5年生ばあの時、お弁当に入っちゃった鮎がおいしゅうてね。もちろん冷めちゅうがやけんど、それでも本当にうまかった。それを忘れられんがよ。

それが縁でか、わしやあ鮎掛けが好きで好きで。60歳で定年を迎えるまで、ずっと安田を離れちよつたげんど、その間、そりゃあ全国の名だたる川をまわつたもんぜ。そしてわかつたがは、安田川が一番えいって言うこと。女房は「えらい高い授業料を払つた」つて笑うがやけんどよ。

安田川のすこいところは第一に、上流から下流までいろいろなところで鮎が釣れること。県道からのアプローチも近いきん、釣り師にとってはまっことこのうのえい川よ。それに味がえい。孫が4歳ぐらゐの時、いろいろな川の

鮎を食べさせたことがあるけんど、安田の鮎を食べた途端、孫はほかの川のもんじやあ満足せんかった。子どもの舌ちゅうのは正直やきんね。

こんなすばらしい川を何とか全国の人にもっと知って欲しいと思つてね。まあ、長いこと留守しちよつたき、なんか生まれ場所の役に立ちたいと思つちゅうがよ。それで釣りに来た人たちの休憩場所を作って、釣り情報を提供しようと思つて、川沿いに櫓を建てたが。

おとり鮎も仕入れて置いちゅうけど、使えんのは捨てるというか迷がしちやるき、これは赤字やね。でも釣り師から鮎を買い上げたりで何とかやつていけゆう。まあ、安田川を楽しんでもらうための手助けをしゅうというところやろうか。



旧/町並み

今と昔じゃ全然風景も
だいぶ変わったみたい、
写真で案内するさね。



新/バス停



旧/小川小学校



新/中山小・中学校



旧/中山中学校



新/サテライト安田



安田漁港
●安田町唐浜
黒潮の恵みを糧として



昭和50年に完成した安田漁港。この港に、秋から翌年初夏にかけては定置網漁で獲られたアジやサバ、イワシが、それ以外の季節は沿岸漁業によるレンコダイやアマダイ、イトヨリなどが毎日水揚げされている。

安田町漁業協同組合・組合長の山本音一さんは、「唐浜は昔からの漁師町。漁港ができる前は、そこそ地域の前の砂浜に船を引き上げていたものです。今よりもずっと砂浜が広くてね。私も子どものころは、浜でよく遊んだものです」

太平洋を目の前に、古くから続く漁師町、唐浜。漁場に恵まれ、水揚げされた魚は、遠く首都圏にも運ばれる。



安田町漁業協同組合
組合長
山本音一さん (78歳)

よ」と話す。かつては遠洋漁業も盛んで、山本さん自身、マグロ船に乗り込んでいた経験を持つ。「今では船に乗る人も少なくなつた。しかしうちの港に水揚げされた魚は、東京や関西でも取引されている。とても恵まれた漁場を擁しているんです」。

マなツつかし



釜ヶ谷の滝

島石
ピクニック広場

上総さんの小屋

● 小川小学校跡

ふるさと小川
地場産品
● 販売所



安田川アユおどる清流キャンプ場

● 川上神社

飯の後では茶を飲み

源平時代、安田不動の塩売りが朝早くから東島へ商売に出かけた。途中、平家の落人が現れて「朝飯を腹一杯に食べたか？飯の後で茶を飲んだか？」と尋ねた。塩売りは「飯は腹一杯食ったが、茶は飲んでない」と答えた。すると落人は塩売りを斬り倒し、その腹を割って中の飯をとって食したという。それから、郷土では「飯を食ったら必ず茶を飲み。」と云うようになったと伝えられている。



● 熊野神社
● 国指定重要文化財
北寺仏像群(9体)

埋められた秘宝

昔、中ノ川集落に欲深な大金持の長者がいた。後継者もないまま手元に莫大な財産だけが残った長者は、ある夜大きな樽を背負った7人の召使いととも山道を登りはじめた。やがて帰ってきたのは長者だけで召使いの姿はない。村人たちは「宝の場所を隠すために7人を殺したのだ。」と噂した。間もなく長者は死に、近の人が跡始末をしたが、財宝は見当たらず、村人たちも探してみたが見つめることはできなかった。もし伝説が真実であれば、今も中ノ川集落のどこかに樽に詰められた財宝が埋められているだろう。しかも七つの白骨に守られて…。

● 中山小学校
● 中山中学校



ハケの谷

味工房じねん
(旧中山小中学校跡)

● ほたるの里
河川公園

● 旧へんろ道

● 中山郷庄屋跡
● 二十三士副首領
清岡治之助碑

● へんろ坂

不思議な大石は「だいせんのエンコウ岩」

南隣にある割り石と併せて「大瀬のエンコウ岩」と呼ばれている大岩。大瀬とは大きな瀬(せん)の意味で大昔からの安田川の呼び名だそう。エンコウはご存じ河童のこと。実は大昔よりこの地域で伝えられてきた親子のエンコウ伝説に由来しているのだが、昭和50年代の安田川の河川改修工事ともなって移されたそう。なるほど、その大きさといい河童が住み付きそうな岩である。



まんま Vol.4で紹介した西島にある台座のような大石。幅2m20cm、高さ85cmもある。

中山の村づくり

町は小うでも本町のズイと通りし庄田町。西に向いては西島の妙見様えと願を掛け。どうかよき妻求めてと東向いては東島。今日きたお嬢と井ノ岡と、へんど坂をば小唄で越えて。色の世界に問下られて、あつものうても内京坊。恋の小松を後として和田わなふるうと鳥越の。中州で暮らす上代の服部と思しそのときは。平山ごめんこうむると小川を思いし大川の。船倉さんを打渡り瀬切り瀬切りて島石へ。



ポンプ！？でも把手はど

夏草に囲まれてポツンと佇むコンクリート。橋桁のようにも見えるが対岸に同じ物はない。やっぱりポンプだろうか…！？



ほたるの里河川公園(花と香りの広場)。すべてボランティアによって維持管理されている。



● 空と海の展望公園

● 県指定保護文化財
神峯神社

● 大くすの木
(県指定天然記念物)